

聖学院大学総合研究所 基礎自治体マネジメント研究会 2021年度 基礎自治体マネジメント研究会 活動報告

【はじめに】

地方分権一括法の成立によって地方自治体が国から制度的に自立して20年が経過したが、多くの基礎自治体は、日々押し寄せる課題への対応に追われるなど、様々な要因によって未だに国への依存から脱却できておらず、真の地方自治を実現していくには、自治体自身の努力は勿論、学問的分野からの支援が必要不可欠な状況にある。一方、学校教育法の改正により、大学の使命に「研究」「教育」「社会貢献」が明記され、本学としても持てる資源を活用して、地元・地域の社会資本としての貢献が求められていることを踏まえて、2021年度、新たに「基礎自治体マネジメント研究会」を発足し、基礎自治体におけるマネジメントの現状とその在り方に関する実務的研究を行うこととした。

【2021年度の主要活動】

○基礎自治体 若手・中核人材育成プログラム

2021年度は、多くの基礎自治体が、喫緊の課題として対応を迫られている、組織の担い手たる人材の育成を支援する社会貢献を担うと共に、同時に、現場の実情把握・研究に資することを狙い『基礎自治体 若手・中核人材育成プログラム』を開催した。

本プログラムでは、①組織・人材マネジメントコース②政策マネジメントコース③財政マネジメントコースに分かれたカリキュラムを用意し、毎月1回（土曜の午後）計10回の定例会を開催することとした（詳細は別記の通り）。

プログラム参加者については、従前から包括連携協定を締結していた、さいたま市、上尾市、春日部市に加え、新たに締結することとなった桶川市、比企郡の川島町、吉見町、鳩山町、嵐山町、滑川町、小川町、ときがわ町、東秩父村に推薦を依頼し、10団体から将来を担う18名の参加申し込みを得、2021年5月22日第1回定例会を開催した。

その後は、毎定例会での講義に加え、参加者自身がそれぞれの実務的研究テーマを設定して研究を進めた。2022年3月12日の最終（第10回）定例会は、本学チャペルにおいて研究発表会として開催した（詳細は別記の通り）。

研究発表会 第1部では、清水正之学長の開会挨拶の後、国際基督教大学の西尾隆特任教授に「職業としての公務員—3つのモードを生きる—」と題して基調講演を頂いた。

その後の第2部 参加18名の研究発表には、各推薦自治体から渡辺一美ときがわ町長、宮崎善雄吉見町長、佐久間孝光嵐山町長をはじめ、副市長、副村長、人事担当幹部職員の参加を頂き、職員のプレゼンテーションに対して激励のコメントを頂いた。予定時間を超える長時間の催しとなったが、充実した意義深い第1期生の発表会となった。

なお、この発表会は公務員志望の学部生にも案内し3名が参加した。

従事研究員：石塚敏之、池田洋子、
長嶋佐央里、猪狩廣美



会場の様子

○川島町 人事評価制度 満足度調査

川島町では令和3年度から人事評価制度の運用を見直し、新たな形で運用を始めることとなった。そこで、現場で生じている課題を明らかにし、制度見直しの効果測定と、更なる改善に資するため、

被評価者及び評価者を対象に、本研究所と川島町総務課との共同研究として、人事評価制度の現状認識と満足度の調査を実施した。

調査期間は2021年5月14日～20日、調査対象は140名、回答数120で回答率は85.7%であった。共同研究の役割分担としては、調査票の配布・回収、データ入力を川島町総務課が担当し、全体のコーディネート、調査票の設計、データ処理を当研究会が担い、分析については両者協力して行った。調査結果報告については、年度末に川島町長宛に提出した。

従事研究員：二神常爾、猪狩廣美

川島町総務課：道祖土彰彦氏、三角和徳氏

【終わりに】

本研究会設立初年度に完結することができた主な活動は上記2件であった。何れも担当した研究員諸氏の献身的な努力は勿論のこと、様々な形で取り組みを支えてくれた総合研究所事務局及び大学総務課他の皆さん、そして学長裁量経費を採択頂き、人材育成プログラムの初回・最終回にもご臨席ご挨拶頂いた清水正之学長、学部を挙げてご支援頂いた高橋愛子政治経済学部長及び関係諸氏に、改めて心からの感謝を申し上げ、今後更に地域自治体との連携強化に資していくことで、お礼に代えさせて頂きたいと思う。引き続きご支援賜るようお願いして、本年度の活動報告とする。

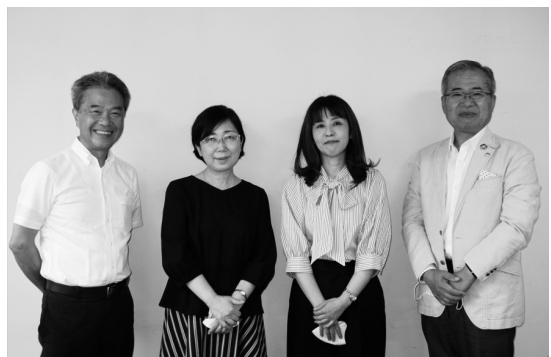
[参照] 大学HP報告レポート：2021年度基礎自治体マネジメント研究会「基礎自治体 若手・中核人材育成プログラム」研究発表会

<https://www.seigakuin.jp/news/seig/20220312/>

(報告者：猪狩廣美 [いがり・ひろみ] 聖学院大学政治経済学部政治経済学科特任教授、基礎自治体マネジメント研究会代表)



発表会登壇者



左から：猪狩廣美特任教授（総括、財政マネジメントコース）、池田洋子研究員（組織・人材マネジメントコース）、長嶋佐央里准教授（財政マネジメントコース）、石塚敏之研究員（政策マネジメントコース）

基礎自治体マネジメント研究会 2021年度 研究報告

2022.03.12

1 「基礎自治体 若手・中核人材育成プログラム」の開催

設定コース：「組織・人材育成マネジメントコース」「政策マネジメントコース」「財政マネジメントコース」の3コースを設定

呼びかけ自治体：包括連携協定を結んでいる12自治体に参加を呼びかけ

参加自治体：さいたま市、上尾市、桶川市、小川町、川島町、鳩山町、吉見町、嵐山町、東秩父村 3市6町1村

参加者：18名（組織・人材9名、政策6名、財政3名）

開催内容：毎月1回、計10回の定例会を開催、土曜の午後4時限で構成（詳細は下表のとおり）

月	日	時 限	科 目	内 容
5	22	1	開講	開講セレモニー、自己(自治体)紹介
		2	全体ワーク	「地方創生」に関するワーク
		3	↓	↓
		4	↓	↓、ガイダンス
6	12	1	組織・人材	・人事政策の役割と目指すもの ・人材マネジメントサイクル
		2	政策	・公共政策(自治体政策)とは ・政策課題の発見手法Ⅰ(現状把握手法)
		3	財政	・財務4規則(予算・会計・契約・財産) ・制度と現実(その限界)
		4	分野別ゼミ	
7	10	1	組織・人材	・職責と職務能力基準 ・人事育成モデルと職務能力の涵養
		2	政策	・政策課題の発見手法Ⅱ(政策課題の定立)
		3	財政	・財政運営の視点(財政構造、キャッシュフロー、財源対策) ・サステナビリティ実現のための財政戦略
		4	分野別ゼミ	
9	18	1	組織・人材	・モチベーション・マネジメント ・マネジメントツールとしての人事評価制度
		2	政策	・政策、施策・事業 ・アイデアから実現可能なプラン作り ・選択と具体化
		3	財政	・公会計改革への対応 ・公契約条例をめぐる動き
		4	分野別ゼミ	
10	9	1	組織・人材	・組織原則と組織形態 ・チーム構成と組織力(スパンオブコントロール) ・リーダーシップとフォロアーシップ
		2	政策	・合意形成のプロセス ・実施のプロセス(手順管理→成果実現)ーアウトプットとアウトカム
		3	財政	・施設の管理運営Ⅰ(直営・業務委託と指定管理:違いと限界)
		4	分野別ゼミ	
11	13	1	組織・人材	・イノベーション・マネジメント ・業務改善と組織力
		2	政策	・行政評価手法とその活用
		3	財政	・施設の管理運営Ⅱ(総合管理計画と直面する老朽化対策)
		4	分野別ゼミ	
12	11	1	全体講義	政策マネジメント
		2~4	分野別ゼミ	
1	15	1	全体講義	組織・人材マネジメント
		2~4	分野別ゼミ	
2	12	1	全体講義	財政マネジメント+基礎自治体マネジメント総論
		2~4	分野別ゼミ	
3	12	1~4	研究発表会	

2 共同研究

埼玉県川島町との共同研究として

「川島町における『人事評価制運用の職員満足度調査』」を実施

以上

2021年度「基礎自治体 若手・中核人材育成プログラム」研究発表会

第一部

- 開会挨拶 清水 正之（聖学院大学学長）
 基調講演 西尾 隆氏（国際基督教大学 特任教授）
 「職業としての公務員 —— 3つのモードを生きる」

第二部

- 池田 誠宏（上尾市）〔財政〕 上尾市における基金の積立状況に関する調査研究
 ——公共施設整備基金の積立について
 大野 貴弘（上尾市）〔政策〕 上尾運動公園エリアの現状と新たな賑わいの創出
 豊嶋 和也（小川町）〔組織・人事〕 選ばれる自治体になるには
 ——受験者数の確保及び内定辞退防止に関する取組について

<コメント>

- 大谷部 聡（桶川市）〔政策〕 若手職員の退職から見る組織の問題点
 ——採用5年以内の退職者ゼロを目指して
 棚橋 康隆（桶川市）〔組織・人事〕 挑戦する集団へ

<コメント>

- 加藤 恭平（川島町）〔政策〕 川島町「地域経営」戦略
 ——OJT活用のすすめ
 鹿山 洋子（川島町）〔組織・人事〕 魅力ある保育園
 品川 貴洋（川島町）〔財政〕 公共施設等総合管理計画・個別施設計画への対応について
 ——川島町立図書館編
 藤井 幸平（川島町）〔組織・人事〕 きっと、変わるチームかわじま
 ——プロフェッショナル 川島町の流儀

<コメント>

- 林 亮太（さいたま市）〔組織・人事〕 メンタル不調にならない！させない！
 ——誰もが働きやすい職場への取組
 遠山 直樹（ときがわ町）〔財政〕 ときがわ町の【強み】を活かした財政運営の検討について
 杉山 拓馬（ときがわ町）〔政策〕 小倉城跡を活用した政策立案
 ——歴史×キャンプ×ふるさと納税

<コメント>

- 押見 由生（鳩山町）〔政策〕 鳩山町版 GIGAスクール構想の未来
 富野 亜以子（鳩山町）〔組織・人事〕 効果的な研修修法とモチベーション向上
 松本 晃（吉見町）〔組織・人事〕 吉見町における人事評価制度の課題と今後の運用について

<コメント>

- 内野 健太（東秩父村）〔組織・人事〕 東秩父村における昇任（昇格）制度について
 高橋 倫晃（東秩父村）〔組織・人事〕 東秩父村人事評価制度の運用改善について
 藤野 広之（嵐山町）〔政策〕 DXに向けた人材育成事業 嵐山町DX前夜
 ——職員の情報スキルアップと町内の情報政策を繋ぐ人材育成

<コメント>

総評

〔政策〕	……………	政策マネジメントコース
〔財政〕	……………	財政マネジメントコース
〔組織・人事〕	………	組織・人材マネジメントコース